



お雛様の後は、武者人形!



仙台陣屋 かわら版

早いもので、今年も端午の節句の季節がやってまいりましたが、ご家庭で五月人形は飾られていますか?資料館では恒例行事の「武者人形展」が4月17日(日)~5月8日(日)の日程で開幕しました。

今年は町内の方からお借りしたものと、新しい収蔵資料合わせて60点を展示しています。病魔を祓い男の子が健やかに育つようお願いを込めて飾られる鐘馗様の人形や、元気な男の子の立身出世の話にちなんで飾られる金太郎人形など、様々な五月人形が一同に会しました。



<今年初登場の兜飾り>

期間中、町内の方は無料で入館出来ますので、皆さまのご来場を、凛々しいお人形たちとお待ちしています。

※4月29日(金・祝)~5月8日(日)は休まず開館しています。



<武者人形展示風景>

第125号

(平成28年5月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

子どもの日企画のご案内

おなじみになりました「子どもの日企画」を、5月7日(土)に実施します。好評の鎧兜の試着体験や、手焼きせんべい体験などに加え、新しい催しになります「袴作り体験」を計画中です。袴といっても布で作るのではなく、紙を切って作成するので小さなお子様でもご参加いただけます。

日本の伝統文化に触れる機会が少なくなってきたので、ゴールデンウィークは陣屋で体験してみませんか?予約や参加費などは不要となっていますので、お気軽にご参加下さい。皆さまの来館をお待ちしています。

- 日時 5月7日(土) 10時~12時
- 場所 白老元陣屋資料館
- 催し 鎧兜試着体験/袴作り体験
抹茶点出し/絵本読み聞かせ
折り紙兜作り

○備考 予約不要、参加費無料(町外からお越しの方は入館料を頂きます)



<女の子だってヨロイが好き>



<大人も楽しめる読み聞かせ>



地域学講座がはじまります！

アイヌ民族の歴史や文化、白老町の歩みを学べる定期講座が、6月から開講します。詳しい情報は資料館のHPや次号以降のかわら版を通じてお知らせします。

聴いて、見て、触って、歩いて、味わって、ユニークなやり方と一緒に白老の知識を深めていきましょう。古老の体験談を中心とした座学型と、地域の散策を含めた体験型の両方を準備していますので、お好きな形式の講座へご参加ください。

馬産地として知られる北海道を舞台とした、出征した馬たちの足跡を知るための展示会が4月17日(日)に閉幕しました。戦争にまつわる展示会ですが、その主役が馬であることに興味を示された方も多かったようです。

今回の展示会では飼育や訓練を担っていた施設の資料など、写真も含めた120点余りの品々をご紹介します。大量の馬を戦地へ送るためどのような取り組みが採られたか、多種多様な政策や宮為にも触れていただけたのではないのでしょうか。現在とは全く異なる形で、人と馬が共に歩んだ日常があったのです。

「戦争と馬産」展はいかがでしたか？



＜軍馬を育てる施設で働く人々が、郷土芸能「白糠駒踊り」を生みました＞



＜愛馬心を促すための「愛馬進軍歌」。4枚全部、違う会社が発行しています＞



来年は大正時代のお雛様が仲間入り



華やかだった「麗しの雛人形展」も3月5日(土)に閉幕しました。今年は8段飾りや手作りのお雛様など、合わせて30セットほどをお披露目することが出来ましたが、如何だったでしょうか？来年は寄贈のタイミングで飾れなかった大正時代の7段飾りも加わります。来館した方もできなかった方も、今から首を長くしてお待ちください。

また、桃の節句からは少し遅れましたが、展示期間最終日には恒例行事の「お雛さま会」も実施しました。最初はまばらだった来場者数も、気づけば会場から溢れるくらいの盛況ぶり。毎年好評をいただいている催しの他、初の試みである「流し雛」も実施しました。自分たちで作った折り紙のお雛様が流れていくと、子どもたちから歓声が上がり、大盛況のうちに幕が閉じました。こちらが予想していたより多くの参加人数で、流し雛の材料が足りなくなるという嬉しい誤算もありました。

来年は、参加者全員が作れるように沢山の材料を用意してお待ちしています。



＜左：川面を流れていくお雛様 右：思い思いの流し雛を制作中＞

「仙台陣屋かわら版125号(平成28年5月号)」

発行日平成28年4月20日(水)

発行所仙台藩白老元陣屋資料館 担当者 平野・工藤

<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/bunka/jinyai/>

Mail: jinyai@town.shiraoi.lg.jp ☎019-220000